

～安全・安心への決意を新たに 67年目の挑戦～

2020年・春

路線バスのカラーリングデザインを一新します！

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、取締役社長：渡邊一洋）は、2020年春より路線バスのカラーリングデザインを一新することといたしました。

路線バスのカラーリングデザイン変更は、1953年（昭和28年）にピーコックブルーの笹の葉デザインを採用して以来67年ぶりとなります。

現在の社名（従前は西武自動車株式会社）へ改称して50年目にあたる2019年に、社内の若手・女性社員を中心とした「西武バスチャレンジプロジェクト」を立ち上げ、西武鉄道沿線をはじめ各社鉄道駅間を結ぶ当社の路線沿線のイメージ等を踏まえ、新しいカラーリングデザインの検討を重ねてまいりました。

新たなデザインには、コーポレートブランドカラーである「Seibu Blue」、「Seibu Light Blue」、「Seibu Green」を巧みに取り入れることとし、西武グループとしての一体感をより一層想起させるものとなります。現在、デザイン決定の最終段階を迎えており、車両の納車時期に合わせてカラーリングデザインの公表、お披露目イベントの開催を予定しております。

西武バスでは、2018年春の現業社員の制服変更ならびにこの度の路線バスのカラーリングデザイン変更を契機に、安全・安心への決意を新たにするとともに、これまで以上に沿線のお客さまから愛され、乗ってみたいくなるバス会社を目指して、本年春の営業運行開始に向けて引き続き取り組んでまいります。

また、西武グループのスローガンである「でかける人を、ほほえむ人へ。」の実現に向け、今後もお客さまの声、地域の皆さまの声を大切に、安全・安心で快適便利な乗合バスサービスの提供に努めてまいります。



西武バス ロゴマーク

メインカラー



変わることのない
「信頼感」や「安心感」をイメージ

サブカラー



人の暮らしや環境と共生していきたいという思い

コーポレートブランドカラー